

# 学習課題(中学校1年生) ⑩



## 【数学】

### <学習内容>

正方形を10個つくるのに必要なストローの本数は？

～ストローの本数を求める式は、どのようにつくとよいだろうか～

※今回の課題は、次々回(⑫)に続きます。

### <取り組み方>

- (1) 教科書P66のように同じ長さのストローを使って正方形を4つつくるとき、ストローは何本必要になるでしょうか。実際に下の図のように正方形を「取組シート」やノートに書いて調べてみよう。
- (2) 美月さんは正方形が5個のときのストローの本数を求めるために、 $1 + 3 \times 5$  という式を作りました。この式の考え方を「取組シート」やノートに書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)
- (3) (2)の考え方以外で、正方形が5個のときのストローの本数を求める式を作ってみましょう。また、その考え方を「取組シート」やノートに書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)
- (4) (2)、(3)のどちらかの式を参考に、正方形が6個、10個のとき、ストローの本数を求める式は、どうなるか確認し、気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)

### <学習のヒント>

- (1) 家にストローやつまようじなどがある場合は、実際に正方形をつくって、使った本数を調べてみよう。ストローやつまようじなどがない場合には、ノートに正方形を書いて調べてみよう。
- (2)  $1 + 3 \times 5$ の式の1、3、5がそれぞれ何を表しているかを、図を手がかりにして読み取ってみよう。次に、+や×の意味を考えてみよう。
- (3) 図を手がかりにして、他の求め方ができないか、考えてみよう。難しい場合は、教科書P67の3の拓真さんの考え方の説明をしてみよう。
- (4) 式の中で正方形が増えると変化するとところと変化しないところに注目してみよう。どんな考え方の式で計算しても同じ本数になりますね。

### <正方形の並べ方>

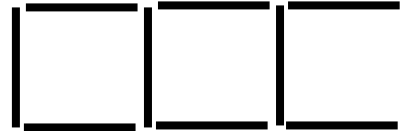
1個のとき



2個のとき



3個のとき



必要なストローの数

4本

7本

10本